

第 34 回 (2021 年度第 2 回) CPD 運営委員会議事録

日時：2021 年 8 月 10 日 (水) 15:00 ～ 16:30

場所：Zoom 会議

出席者：(順不同、欠席者下線)

須藤亮委員長 (会長)、石原直幹事 (副会長)、高木真人委員 (副会長・CPD 委員長)、奥津良之委員 (ECE 委員長)、尾崎章委員 (CPD 幹事)、柳川博之委員 (CPD 委員)、渡邊誠委員 (ECE 幹事)、原龍雄委員 (広報委員長)、島田敏男氏 (日本工学会事務局)

議 題

1. 委員会名簿の確認について
2. 前回議事録 (6/9) の確認について
3. 各委員会報告 (CPD、ECE、広報)
4. 2021 年度 CPD シンポジウム企画
5. その他

配布資料

- 0-1：第 34 回 (2021 年度第 2 回) CPD 運営委員会 (本紙)
- 0-2：CPD 協議会役員・委員名簿 (2021 年 8 月 10 日)
- 0-3：各委員会名簿 (2021 年 8 月 10 日)
- 1：第 33 回 (2021 年度第 1 回) CPD 運営委員会議事録 (案) (2021.6.16)
- 2-1：令和 3 年度第 1 回 (第 70 回) CPD プログラム委員会議事録 (案) (2021.6.11)
- 2-2：ECE プログラム 2020 年度「修了証」及び 2021 年度の「認定証」の発行状況について
- 3-1：2021 年度第 1 回 CPD 協議会公開シンポジウム プログラム
- 3-2：(参考) 令和 3 年度事業計画書
- 4：第 3 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム
- 5：照明学会の質問と事務局回答案

議 事

1. 委員会名簿確認

CPD 協議会、各委員会の委員名簿を確認した。

協議会委員について、日本技術士会の協議会委員が 9 月 1 日付けで交代予定であること、日本原子力学会の田辺委員が退任し後任をどうするかは日本原子力学会で検討中との報告があった。

2. 前回議事録確認

石原幹事より、「資料 1：第 33 回 (2021 年度第 1 回) CPD 運営委員会議事録 (案) (2021.6.9)」が紹介され、前回議事録が確認された。

3. CPD プログラム委員会報告

高木委員長より資料 2-1：令和 3 年度第 1 回 (第 70 回) CPD プログラム委員会議事録 (案) を用いて報告があった。日本技術士会は、技術士制度改革 (4 月の大臣通知) として来年度から CPD の公的運用を導入するに当たって「技術士 CPD ガイドライン」

と「技術士 CPD 管理運営マニュアル」を策定中であり、日本工学会としては技術者のレベルアップという CPD 協議会の使命につながることから技術士会の CPD 制度作りにも協力していくこととしたこと、これに合わせて日本工学会の CPD ガイドラインを国際的な通用性なども視野に入れ見直しを進めて行くこととした旨の報告があった。

4. ECE プログラム委員会報告

事務局より、資料 2-2 を用いて、ECE プログラム 2020 年度「修了証」の発行状況、及び 2021 年度の「認定証」の発行状況が報告され、認定証未発行の 2 件について対応していくこととした。また、奥津委員長より、ECE プログラムの社会的プレゼンス・認知度が上がっている印象があるとの意見があった。

5. CPD 広報委員会報告

原広報委員長より、広報委員会が展開しているホームページ「一口メモ」を通して、(中小企業をターゲットに) 学協会の利用は産業活性化に有効であることを訴えて行く旨の報告があった。

6. 2021 年度 CPD 協議会公開シンポジウムの件

今年度の第 1 回 CPD 協議会公開シンポジウムで取り上げるテーマについて議論した。
・前回に続いて海外の継続教育の実態や人材育成の取り組みを聞きたいものである。
・教育界・産業界を挙げて活発に議論されている STEAM 教育を取り上げてはどうか。
・やはり、CPD 教育、継続教育の観点は外せないだろう。
・「STEAM 教育から CPD 教育まで」といったテーマ設定が考えられる。
以上の議論より、まず、科学技術人材育成コンソーシアム(岸本代表)に連携シンポジウムの企画を提案してみることとなった。

7. 第 3 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウムについて

高木 CPD 委員長・事業企画委員会委員・国際委員会委員長より資料 4: 第 3 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウムを使って、2022 年 3 月 4 日に開催予定のシンポジウムの企画状況の説明があった。2 部構成として「技術者」と「工学」をテーマとすること、第 3 回は全員リモートの可能性があることなどの報告があり、運営委員会終了後も 25 日までを目途に、サブテーマやパネリストについての提案依頼があった。

8. 照明学会からの質問への対応について

非会員に回答する必要性など種々議論の結果、事務局作成の「照明学会への事務局回答案」に、「この回答は日本工学会が公表している CPD プログラム事業の現状報告であること」、「貴学会として日本工学会 CPD 協議会への加入を検討頂きたいこと」を付記して回答することとなった。

9. 日本技術士会 CPD 活動関係学協会連絡会への参加

高木副会長が参加することとなった。

10. 次回開催予定について

次回の CPD 運営委員会は 9 月 16 日(木) 15:00~16:30 に開催することとした。

以上